

数 学 科 の 学 習

☆重点目標

(文部科学省中学校指導要領より)

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
- (4) 教育に関する3つの達成目標「学力」について次の4点ができるようにする。
 「文字式の四則計算ができる」「式の値を求めることができる」「連立方程式が解ける」「図形の性質を使って角の大きさを求めることができる」

☆目標達成のために

- ・実生活における様々な事象との関連を大切にし、生徒が積極的に活動する授業づくりに努めます。
- ・ゆとりをもって自ら課題を見つけ、主体的に解決する活動を重視し、努力したことや向上したことを大切にします。
- ・学ぶことの楽しさや充実感を味わいながら学習を進めるように努めます。

☆こんな授業を行います。

- ・身近な実生活の事象を重視し、作業、観察、実験、調査などの活動を多く取り入れます。
- ・基礎的なやさしい内容から段階的に応用的な内容へと進みます。

☆評価のポイント

- ① 知識及び技能
 - ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ② 思考力、判断力、表現力
 - ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度
 - ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。

☆生徒に頑張って欲しいこと

- ・「継続すること」が学習のポイント、日々の反復学習に努めてください。
- ・「間違い」を恐れることなく、積極的に発表ができるように努めてください。

☆学習内容

1 学 期	1. 式の計算 2. 連立方程式	(①式の計算、②文字式の利用) (①連立方程式とその解き方、②連立方程式の利用)
2 学 期	3. 1次関数 4. 平行と合同	(①1次関数、②1次関数と方程式、③1次関数の利用) (①説明のしくみ、②平行線と角、③合同な図形)
3 学 期	5. 三角形と四角形 6. 確率 7. データの比較	(①三角形、②平行四辺形) (①確率、②確率による説明) (①四分位範囲と箱ひげ図)